

興徳寺便り

第146号
(復刊第71号)
令和6年暮

願い

谷川俊太郎

いっしょにふるえて下さい
私が熱でふるえているとき
私の熱を数字に変えたりしないで
私の汗びっしょりの肌に
あなたのひんやりと乾いた肌を下さい

分かってほしいで下さい
私がうわごとを言いつづけるとき
意味なんか探さないで夜つびて私のそばにいて下さい
たとえ私があるあなたを突きとばしても

私の痛みは私だけのもの
あなたにわけてあげることにはできません
全世界が一本の鋭い錐でしかないとき
せめて目をつむり耐えて下さい
あなたも私の敵であるということに

あなたをまるごと私に下さい
頭だけではいやです心だけでも
あなたの背中に私を負って
手さぐりでさまよってほしいのです
よみのくにの泉のほとりを



『自選 谷川俊太郎詩集』岩波文庫より

詩人・谷川俊太郎さんが11

月13日、老衰にて亡くなりま
した。92歳でした。戦後日本
を代表する詩人で、最晩年まで
旺盛な創作意欲を持ち続け、詩
や絵本、翻訳など膨大な作品を
残しました。この「興徳寺便り」
でも何篇か掲載させていただ
いたことがあります。今回は
『自選 谷川俊太郎詩集』より
【願い】を取り上げてみました。

悲しいとき、辛いとき、誰か

にこの苦しみを聞いて欲しいと
思い、それに対して相手が励ま
すつもりで「がんばれ！」と言っ
たとします。その言葉は果たし
て慰めになるでしょうか？

その方が正義や世間一般の常識
のなかで一生懸命言葉を紡いで
もそれが心に響くでしょうか？

言葉は要らない、ただ傍にいて
寄り添っていて欲しい、肉体の

痛みは私が引き受けるからその
すべてを受け取って包み込んで
くれる存在であって欲しい・・・
そんな願いを叶えてくれる存在
のことを『ほとけさま』と呼
ぶのでしよう。

法華経の譬喩品第三の文句

「今この三界は皆これ我が有な
り。その中の衆生はことごとく
我が子なりしかも今この処は
諸々の患難多し。ただわれ一人
のみよく救護をなす」……この
宇宙のすべては私（仏）の命の
中にありその中で生きとし生け
る者はすべて私の子どもです。
しかも、今この世界はありとあ
らゆる悩みや苦しみに満ちてい
る、ただ私だけがそこから救い
導き守る事が出来るのです……

仏教ではすべての命に仏が宿

ると説きます。その仏の子であ
る私が掌を合わせ「南無妙法蓮
華経」と唱えたときに私と仏が
一つになれる。まずはそこを信
ずることから始めましょう。

そして誰かが辛いとき、そつと
傍にいて苦しみを受け止めてあ
げられる存在となれますよう。

生きている間に仏と成る
(成仏する)ことは叶わなくとも、
「仏さんのような人」には
なれるかも・・・

（谷川俊太郎さんのご冥福を
心よりお祈りいたします）

暮れから年始のご案内

12月15日(日) 8:00~ **本堂の大掃除**

暮の忙しい時期ですが 御協力できる方は お願いいたします。2時間程度です。

12月22日(日) 15:00~ **写経** 16:00~**唱題行**

12月31日 **除夜の唱題行** 23:30~
大晦日から新年にかけて1時間の唱題行です。途中参加もできます。
寒いので閉め切っていますが自由にお入りください。

1月2日 **新年初法要** 10:00~ 法要 引き続き 法話
興徳寺の初詣です。ほとけさま、ご先祖さまに 越年(おつねん)の感謝の祈りを捧げ、
新しき年の安穩と 御参詣の皆さまとご家族のご健勝と心願成就を御祈願いたします。
いつものように オイシイ甘酒とお汁粉、お年玉付き。お誘いあわせでどうぞ。

1月20日~2月2日 **寒行**
1月20~22日:興徳寺、23~25日:常境寺、26~27日:三澤寺、28日:定林寺
29~30日:妙覚寺 31日~2月2日:妙泉寺。(2日は節分の豆まきです)

興徳寺出発のコース 1月20日(月)大畑~押出~下組~鳥並
1月21日(火)辻~久保(大鹿窪)
1月22日(水)天神~猫沢

1月26日(日) と 2月24日(日) 15:00~ **写経と唱題行**



11月15~16日 **団参**。今回は日蓮聖人の法難の地、
龍ノ口処刑場跡に建てられた『龍口寺』に参拝、そこから
江の島~湯河原温泉~箱根へ。気心知れたお檀家さん
同士、まさに**和気藹々**(わきあいあい)の旅でした。



宗祖日蓮大聖人第743遠忌 お会式



スタッフ（裏方さん）の 女衆↑ と 男衆↑、 ご苦労様でした。



尺八・田島直士、ヴァイオリン・河村典子、コントバス・白土文雄さんの コンサート

みんなそろってお昼ごはん



11月10日は『お会式』、
今回は法話に代えて 尺八・
ヴァイオリン・コントラバスと
いう珍しい組み合わせのコンサ
ト。御宝前への尺八献奏に続き、
住職・副住職の読経とコントラ
バスとの共演という不思議な体
験もし、その後は一流プロの奏
でる豊かで繊細な音色をたっぷ
りと堪能させていただきまし

【写真提供 高瀬幹雄】

住職のつとめ

●「暑い暑い」と言いながら9月10月と過ぎてゆき 11月になってようやく過ごしやすくなったと思つたら、もうストーブの季節です。柿の実が色づく秋の景色も記憶に残らぬまま、柚野の名物・柚子も実る木もあればまたく実らない木もあり・・・

彼岸花の開花も例年のお彼岸頃はまだ半分くらいで、ぽつぽつダラダラと10月初めまで楽しむことはできましたがすべてが一斉開花というシーンはもう見る事ができないよ

うな気がします。●十一月は「お会式」、「団参」の他、「植樹祭」という私にとっては大切な行事がありました。針葉樹に覆われた柚野の山をムカシのような広葉樹の山に戻したい、と『里山復活』を目指して仲間たちと「NPO法人柚野どんぐりの会」を立ち上げたのが2011年、以来柚野小学校の子どもたちと一緒に植樹を続けて今年が第十三回となりました。十一月十四日、七十四名の児童と、先生・父兄・スタッフ併せて百六十名、今年から植樹と育樹を組み合わせた『植樹・育樹祭』

とし、柚野の里を見下ろす山の上で四〜六年生は昨年植えた木の手入れをし、三年生には桜を植えてもらいました。私たちがやってきたことは山全体から見れば本当に微々たるものですが、最初の頃に植えた木が紅葉の林となって落ち葉をかきこぞ踏みながら歩いてゆくとしみじみと喜

を巡って温泉に宿泊、というバス旅行も平成二十六年の佐渡旅行から数えて十年目、運転手さん、ガイドさん含めてお檀家さん、という気心知れた仲間とのとても幸せな時間を共有しました。「来年はどこへ？」という声がもう聞こえてきます。皆が喜び充実したコースをあれこれ思案中です。是非ご参加を！

●年末なのでお檀家さんには「お札(ふだ)」を同封します。「魔除け」となりますので玄関に外向けに貼ってください。その他・暦・一円貯金箱・年忌案内(該当者に)同封しました。ご確認ください。

暮のお経廻りの予定

- 12月1日(日) 万野原新田,大岩,小泉
- 2日 稲子~芝川。大久保
- 3日 精進川と下条
- 4日 下条~青木の一部
- 5~6日 青木~馬見塚~外神
- 7日(土) 富士市 8日(日) 由比・清水・静岡・内房・大久保~希望者
- 9日 大中里・淀師・淀川町・穂波町、若の宮町、柚野
- 10日 北山・上井出 山宮・栗倉・舟久保町・村山 柚野
- 11日 柚野・宮原・富士見ヶ丘・源道寺・野中・星山
- 12日 西町・貴船町・泉町・大宮町・宮町・豊町 柚野 13日 柚野
- 14日(土) 三島、希望者、柚野
- 15日(日) 希望者、柚野

**変更を希望する方は ご連絡ください。



タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591

びがわいてきます。目指すは「千年の森!」5万本の桜と紅葉に覆われた夢の里山作りのスタートとなりますよう。

●『団参』、お寺に参詣し観光地



●今回のイラスト→、巻頭詩のバック、ともに松永沙織です。

【泰然記】